

津興橋の架け替え

整備方針とスケジュール

整備方針

- 日当り交通量 約16,000台/日
⇒ 重要な橋梁
- 建設後85年が経過
⇒ 老朽化による橋の損傷が顕著
- 地震時に通行を確保すべき道路上の橋梁
⇒ 耐震対策が必要

架け替えの方針を決定

- H28 橋梁設計・用地補償調査
- H29 用地買収
- H30 仮橋設置工
- R1 仮橋設置工
- R2 仮橋設置工・旧橋撤去工・下部工(橋台)
- R3 旧橋撤去工・下部工(橋台)
- R4 旧橋撤去工・下部工(橋脚) (636,100千円)

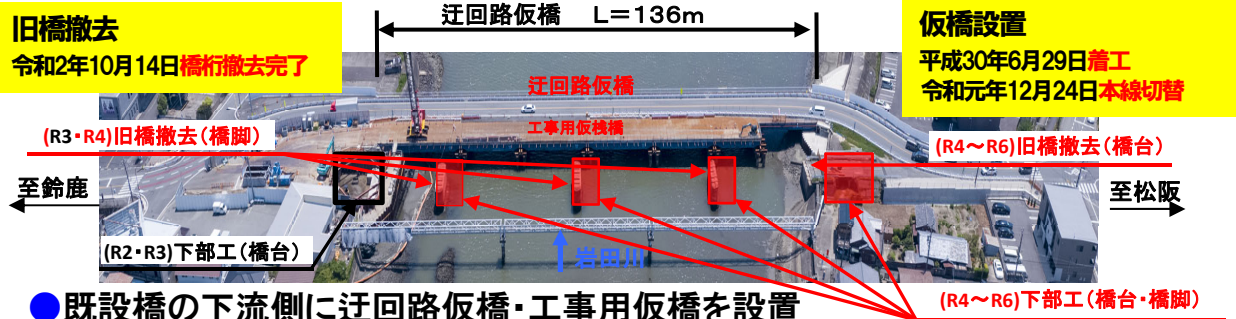
【計画事業期間:2016年度(平成28年度)
~2026年度(令和8年度)】

今後のスケジュール

年度	内容
H30	仮橋設置工事
R1	仮橋設置工事
R2	仮橋設置工事・旧橋撤去工事
R3	旧橋撤去工事・下部工工事(橋台)
R4	旧橋撤去工事・下部工工事(橋脚)
R5	下部工工事(橋台・橋脚)
R6	下部工工事(橋台・橋脚)・上部工製作工事
R7	上部工架設工事・仮橋撤去工事
R8	仮橋撤去工事

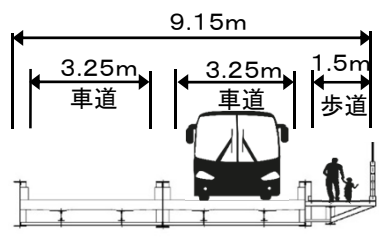
仮橋による通行
施工

架け替え工事に着手

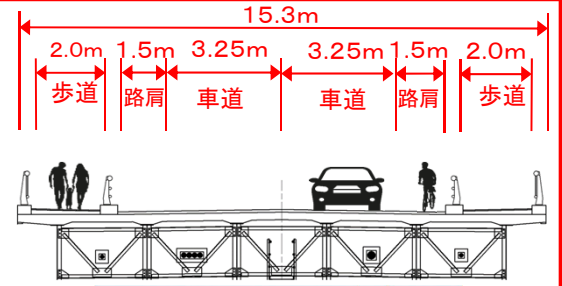


- 既設橋の下流側に迂回路仮橋・工事用仮橋を設置
- 既設橋撤去・新橋設置時には仮橋により通行止め回避

架け替え前



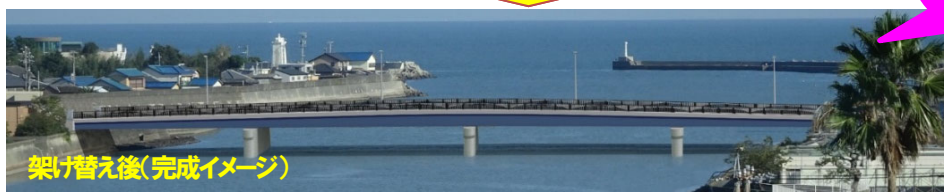
架け替え後



改良点

- 両側歩道
- 歩道拡幅
- 路肩増設

架け替えに伴い、前後の道路形態に併せ両側歩道を整備



令和7年度
完成予定

総事業費
約45億円(見込み)